

ガバナー一月信 最終号



■ ガバナーメッセージ	1
■ 地区幹事挨拶	3
■ 地区財務委員挨拶	4
■ ガバナー補佐挨拶	5-11
■ 各委員会報告	12-24
■ 第3分区IM報告	25
■ 第4分区IM報告	26
■ 2020-21寄付一覧	27





一年間の感謝をこめて

国際ロータリー第2560地区

2020-21年度

ガバナー 佐藤 真（村上岩船）

ガバナーとしての準備も含め二年間余り、長くも、短くも感じられ様々な思いが脳裏を駆け巡ります。COVID-19禍の中、完遂できなかったこともありましたが、皆さまのご理解とご協力によりガバナーとしての責務を全うできたのではないかと考えています。

今、東京では4回目の緊急事態宣言の中、一年越しの東京オリンピック・パラリンピックが57年ぶりに開催され、私たちに多くの感動と希望を与えてくれました。多くの競技が無観客開催ながらも表彰台で君が代を口ずさむ日本人選手の姿は感無量でした。日本としては史上最多のメダル獲得数を記録し、スポーツ大国である米国、中国に次ぐ成績にグローバリズムや多様性を感じずにはいられませんでした。

さて、昨年度からの懸案事項であるガバナーノミニーが、三条北RCの米山忠俊氏に決まりました。年度は越えてしまいましたが、ガバナー指名委員長の山本和則パストガバナーと共に責務を果たすことができ肩の荷が下りたようです。大変ご苦勞をいただきました第四分区の皆さまには厚く御礼申し上げますと共に、これからスタートする米山年度の準備にご理解とご協力をお願いいたします。

2019年4月に第一分区分会会長幹事の強い推薦を受け、ガバナー輪番制導入後初のガバナーとして、第一分区分9クラブから選出させていただきました。当初戸惑いも多くありましたが、渡邊明紀地区幹事をはじめ多くの皆さまに支えられたお陰で、COVID-19という大きな障害にも負けず、幾つもの新しい機会の扉を開き、良い活動ができたと思っています。特に初めてのZoomを使ったオンライン公式訪問では、ガバナー補佐の皆さまに助けていただきました。音と映像を繋げるのは機械ですが、人と人を繋げるのは人間です。PETS、地区研修・協議会ともDVDと紙資料による研修となってしまった私の年度は、ほとんどの会長幹事の皆さまと面識のないままの公式訪問でした。それをガバナー補佐の皆さまが私とクラブを上手く繋いでくれました。しかも皆さま初めてのZoom対応でした。本当に素晴らしい7名のガバナー補佐の皆さまに心から感謝を申し上げます。また、地区大会記念親睦ゴルフ大会には400人を超えるご登録をいただきありがとうございました。予定した日程では定員超過になり、二日間の開催に変更したことは嬉しい悲鳴でしたが、実行委員会の皆さまにはご苦勞をおかけしました。さて、ガバナー年度最大のイベントである地区大会ですが

再三再四の開催内容の変更にも関わらず対応していた実行委員会関係各位に深く感謝申し上げます。地区ロータリアン2,072名のご登録をいただきCOVID-19禍にも関わらず開催させていただいたことは感謝の一言に尽きます。会場参加人数を最小限としオンライン配信となり、内容も必要最小限となったものの、(株)PHP研究所の永久寿夫氏の講演は会社経営やロータリー活動にもとても意義深い内容でとても素晴らしいものでした。そして、私にとってとても感慨深かったのはガバナーとして初めて家族(娘)同伴でロータリー行事に参加したことでした。親の介護で参加できない妻が娘に参加を勧めてくれました。いつも私を支えてくれる妻に改めて感謝した日でもありません。

また、今年度自分の力不足を痛感したのが、頸北RCのRI脱会というとても衝撃的で悲しい出来事でした。苦渋の決断をされた伴野正明会長はじめ会員の皆さま、そして私を支え第七分区をまとめてくれた倉茂 章ガバナー補佐には、そのご心痛をお察し申し上げますと共に今までのご功績とご尽力に深謝いたします。ロータリークラブを離れられたとしても皆さまの精神はロータリアンです。いつの日か再び一緒に良い奉仕活動ができることを心より願っております。

2020-21年度ホルガー・クナークRI会長のテーマは「ロータリーで機会の扉を開く」そして私の地区運営方針は「ロータリーで良いことをしよう」でした。振り返れば時節に合ったテーマ・方針だったと思います。そして、私たちがこれからも胸に抱き続けるべきものだと思っています。ぜひ、地区ロータリアンの皆さまにはこれからも「ロータリーで多くの機会の扉を開き、良い奉仕活動を実践していただきたい」と願っています。

結びに、私をこれまで支えて下さいました地区ロータリアンの皆さまのご理解とご協力に深く感謝を申し上げ、ガバナーとして出会った多くの皆さまのご多幸、そしてCOVID-19の早期終息を祈念し御礼の挨拶とさせていただきます。



佐藤年度を振り返って

国際ロータリー第2560地区

2020-21年度

地区幹事 渡邊 明紀（新発田）

やはり最初に申し上げたい事は、皆様への感謝です。

私は地区出向経験もないままに、地区幹事としての役目を果たすべく駆け出しましたが、全く予期せぬCOVID-19禍が生じました。想定外の事ばかりで、目の前の事柄に対処するだけで精一杯の日々が続きましたが、曲がりなりにも佐藤年度を納める事ができましたのは、常日頃より気にかけて下さった皆様のお陰であり、切ない時に声をかけて下さり、御指導、御協力を賜った皆様のお陰です。本当にありがとうございました。

初めて佐藤ガバナーにお会いした時に、佐藤年度の目標をお伺いしたところ、“地区の伝統を築き上げてくれた先輩たちからのバトンを次年度以降に引き継ぐ事だ”と仰いました。一見簡単そうに感じますが、これはとても難しい目標です。達成するにはクラブやそのメンバー、そして関わってくださるすべての方々の信頼にお応えすることが必須だからです。地区として、クラブやロータリアンの皆様にとってスジの通らない事をして、信頼を失うことがあれば、その時点で当該年度は実質的に活動終了です。常にスジを通し、将来にも恥じる事が無い様に心掛けました。

また佐藤ガバナーは私に、「地区やガバナーはクラブより偉いものではない。RIの役員としてRI会長の意向をクラブに伝え、クラブの活性化に資する事がガバナーの存在理由である。地区とガバナーはクラブの奉仕活動の活性化のためにあるので、そこを勘違いしてはいけません。」とも教えてくださいました。任期の間、愚直にそれを繰り返し、想定外の事が起こっても全くブレることなく、スジを通した佐藤ガバナーは私にとって素晴らしいガバナーであり、お任せさせて頂いた事に改めて感謝を申し上げたいと思っております。

地区幹事として日々を積み重ねる事で、改めて4つのテストの素晴らしさや奥深さを実感する事が多くありました。ポールハリスが仰った“寛容の心”の大切さを感じ入る事が幾度となくあり、地区幹事としても、個人的にも沢山の学びを頂きました。

2021年6月末をもって佐藤年度は長い旅を終えました。十分な事が出来たかどうか、役割を果たせたか甚だ心もとなく、皆様にご迷惑を沢山お掛けしたことをこの場を借りてお詫び申し上げます。地区幹事としての任期はまだ1年ありますが、佐藤ガバナーの故郷の村上の鮭が生まれ育った川に戻るように今後は新発田クラブに戻り、一会員としてこの経験を活かしながら奉仕活動に励もうと考えております。

皆様から頂いた温かい御気持ちに感謝を申し上げ、当地区の隆盛、皆様の御健勝を心からお祈り申し上げます。



佐藤年度を振り返って

国際ロータリー第2560地区

2020-21年度

地区財務委員 金子 謙 (村上岩船)

佐藤年度が終了致しました。

ミニミーを2か月余りで終えてエレクトになり予算案の計画立案から約2年、またたく間に過ぎ去りました。

急なことで最初は感覚的にロータリーの各事業計画と予算の関係が良く理解していなかったこともあって、それ以前3年度(田中年度、新保年度、川瀬年度)分の予算案と決算書、大谷年度の予算案をよく読むところから始めました。予算案の作成に係わった皆様と業務に精通した地区事務所の方々のご協力・ご理解に対し感謝を申し上げます。

会員の減少が心配されるなか、佐藤年度で十分な予算を使い活動すると次年度(高尾年度)の予算にくい込みそうなこともあったので、緊縮予算(入ってきたもので活動をする)で本来の活動を削ぐことなく前向きに進むためにはどうすれば良いのかと思い悩みました。

実際、年度が始まるとCOVID-19の流行が収まらなかったことから実際の活動は皆様のご存じのとおりであります。

このような危機的な時でもいろいろ工夫をして前向きに活動を行ったことに対して予算の組み替えや支出に支障をきたさなかったことはひとえに会員皆様のお陰であります。

今思えばこのような状況の中での2年間は大変貴重なものであったと思います。

会員皆様からいただいた貴重なお金を活かして有効に使う為に努力をしたつもりでも皆様の想いに報いることが出来なかったこともあったのではないかと思います。お詫びを申し上げるとともに次年度に託す資金を多めに残したことにより、次年度以降の活動を支援することでご容赦をお願い申し上げます。

1年間大変ありがとうございました。



2020-21年度の活動を振り返って

2020-21年度

第1分区ガバナー補佐

佐藤 正志 (村上)

佐藤真ガバナー年度スタート当初は順調な滑り出しが可能と考えましたがCOVID-19の感染が拡大しオンライン中心の会議、そしてオンラインでの公式訪問が村上RCをスタートに開催されました。第一分区に関してもリアル訪問が中条RC1クラブのみで他は全てオンラインでの開催でした。移動が無かった分本音を言いますと楽であったことは事実ですが、物足りなさを感じたのは私だけでしょうか。

やはり基本は各クラブを訪問し、対面での公式訪問を行う事で本当のコミュニケーションが取れるのではと考えたところです。パソコン、タブレット、スマホを使うことで利用できるオンラインコミュニケーション活動が急速に広がったことも大きな変化です。自分の机に座ったまま会議、講演等に参加できる、行える現在の状況に大きな拍手を送りたいと考えます。ロータリークラブ活動でオンラインを利用することが必然的に求められたことが自らの経営現場でも使えるようになり状況が一変したことを感じています。緊急事態宣言が実施された時には他県からの来訪者はゼロでした。此方から訪問する事も出来なかった。しかし便利なツールのお陰で困ることはなく海外も含めてオンラインの活用で訪問に代わる事が出来、大いなる感謝を申し上げます。

COVID-19の状況下でガバナー補佐を拝命し、佐藤真ガバナー、渡邊明紀地区幹事はじめガバナー事務所、地区事務所スタッフの方々に多大なるご指導を頂き進化した今日を迎えることが出来ました。苦労はしましたがご協力を頂きました国際ロータリークラブ第2560地区の皆さんに感謝を申し上げます。有難うございました。



一年を振り返って

2020-21年度

第2分区ガバナー補佐

宇尾野 隆（新潟）

佐藤ガバナーの年度は本当にCOVID-19に始まり、COVID-19に終わった一年であったと思います。そのような中で、第2分区各クラブの会長さんはクラブの運営、例会の在り方、会員交流の仕方について大変ご苦労されたことと思います。特に会員交流＝懇親会ができなくて残念に思っている方が多いと思います。このような状況の中で、各クラブの会長初め会員の皆さんが一年間、ロータリー活動を続けてこられたことに敬意を表します。

佐藤ガバナーは昨年7月のスタートからロータリアンの感染防止に十分配慮され、オンラインによる運営を多く行ってまいりました。ガバナーの公式訪問は第2分区9クラブ中6クラブがオンライン訪問で、3クラブが直接訪問でありました。私達ガバナー補佐の会議も一度だけ直接集まりましたが、他は全てオンラインでありましたし、56クラブの会長会議もオンラインでありました。そして、地区大会も何度も変更になりましたが4月18日に一部会場とオンラインのハイブリットでありました。その中でも、第2分区のIMは感染拡大と感染拡大の合間に、各クラブの会長のご協力のもと例年より規模は縮小しましたが9クラブの皆さんよりお集まりいただき開催できたことはうれしい限りです。



6月より、第2分区の各クラブを訪問させていただきガバナー補佐の引き継ぎを私から新潟東RCの片山政博さんにさせていただきました。是非、第2分区を挙げて第2分区新潟中央RC輩出の高尾ガバナーの年度を盛り上げていただきたいと思います。

現在、ワクチンの接種が進んでおりますが、一刻も早く普及して、以前のようなロータリー活動と会員同士の交流ができるようになってほしいと思います。

本当に一年間、皆様にお世話になりました。感謝を申し上げましてご報告とさせていただきます。どうも、ありがとうございました。



佐藤年度の1年を振り返り感謝を込めて

2020-21年度

第3分区ガバナー補佐

野崎 和久 (村松)

佐藤真ガバナーのテーマ「ロータリーで良いことをしよう」の方針のもと、すべてが良い思い出となり任務を終える事ができました。「小さくともきらりと輝くクラブ運営」を目指すとした前年度ガバナー補佐 故目黒正文氏の遺志を受け継ぎ、佐藤ガバナーと第3分区の6クラブの橋渡し「恋のキューピット」的役割を果たすべく、ガバナー補佐を微力ながら努めて参りました。

親睦こそがロータリーの神髄との教えからすれば少し心残りな1年でしたが、改めて親睦と友好の大切さを身に染みて感じる1年でした。しかしながら、前年度の繰り越し開催を含め、第3分区ガバナー補佐杯争奪ゴルフ大会を9月と5月にそれぞれ新津CCと湯田上CCで好天の下、開催できましたことは、参加会員の皆さまの記録と記憶に残る親睦の大会になり得たことと思います。

直接訪問2クラブ、オンライン訪問4クラブのガバナー公式訪問を無事に終え、分区の最大イベントでありますIM。2回の開催延期の末、6月13日についに開催することが出来ました。地区テーマに導かれたIMテーマ「ロータリーで良い恋をしよう」と開催した内容は6月13日現在のCOVID-19の感染防止対策を施した最も「ロータリーで良いことをしよう」が出来たと自己満足しています。

佐藤年度に感謝いたします。ありがとうございました。



Rotary 2020-2021年度
白根ロータリークラブ ガバナー公式訪問 2020年10月1日 基サルナート西講堂



第3分区ガバナー補佐杯争奪ゴルフ大会 2021.5.30



一年を振り返って

2020-21年度

第4分区ガバナー補佐

丸山 健（吉田）

2020年7月からスタートした「佐藤真ガバナー年度」、「COVID-19」で始まり、「COVID-19」で終わった大変厳しい一年だったような気がいたします。行動が制限され、予定通りに活動が出来ませんでした。佐藤真ガバナー年度がスタートする前に第四分区内の11クラブを訪問し会員の皆様にご挨拶をする予定でしたが、かないませんでした。6月19日に吉田産業会館で、三密を守って会長、幹事会を開催して「クラブの目標」について協議をさせて頂きました。

残念ながら感染拡大のため、事前訪問は中止になりました。7月にスタートした佐藤ガバナー公式訪問は、第四分区では11クラブの内、9クラブが直接訪問、2クラブがオンラインによる公式訪問で行われ、お陰様で9クラブが直接訪問でしたので、第四分区の多くのロータリアンの皆様とお会いし、お話が出来て大変良かったと思っております。

「PETS」、「地区研修・協議会」、「地区大会」の主要行事が全てオンラインで開催され、第2560地区のロータリアンの皆様にお会いできない寂しさがありましたが、これでまた「新しい機会の扉」が開かれたのかもしれない。

佐藤年度、ガバナー補佐会議は8回開催され、他の分区のガバナー補佐の皆さんと親睦を図ることが出来、又他の分区の状況を知ることが出来たことは大変勉強になりました。

心配していた第四分区のIMは変更に変更を重ね、何とか年度内の6月19日、佐藤真ガバナー、渡邊明紀地区幹事にご出席頂き、規模を縮小して、開催させて頂く事が出来ました。

2023-24年度のガバナーを、輪番制により第四分区から選出する件につきましては、大変苦勞いたしました。

会長、幹事会を何回も開催して討議いたしました。指名委員長の山本パストガバナー、佐藤真ガバナーからもご出席頂き、状況を説明して頂きました。第四分区AG会（ガバナー補佐経験者）の皆様にはご指導、ご協力を頂き、何とか7月の初旬、ガバナー指名委員会に、三条北ロータリークラブの「米山忠俊氏」を推薦することができました。この件では三条北ロータリークラブの佐藤年度石黒会長、他クラブの会員の皆様には大変なご苦勞、ご協力を頂き、心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。これで私のガバナー補佐としての務めが何とか終わることが出来ました。

第四分区のロータリアンの皆様、一年間ご協力を頂き有難うございました。この場をお借りして御礼申し上げます。



ガバナー補佐を振り返って

2020-21年度

第5分区ガバナー補佐

鈴木 公子（柏崎中央）

ガバナー補佐に選ばれてからというもの、「私なんかを務まるのかしら?」とか、「そんな大役私には無理」「仕事に支障をきたさないかしら?」と、不安ばかりでした。その上、COVID-19感染拡大で、例会開催さえも通常にできない日々。各クラブへの訪問は、歯科医師という職業柄、迷惑がかかってしまったらいけないと考え、初めての経験でしたが、リモートでの会長幹事会を開催。どぎまぎしながらも、皆様との話し合いもできて、ガバナー訪問も、申し訳ないと思いながら、リモートのみでの参加となりました。

IMに関しては、実行委員と悩みながらも、延期して奇跡的に2月27日に開催することができました。講師には福岡から内田美智子助産師をお迎えし、「命をいただいて、繋いでいくこと」をお話していただきました。佐藤ガバナーと渡邊地区幹事にもご列席いただき、各クラブからは会長幹事のみでの参加とさせていただき、その代わりに、同時にYouTubeでの配信、その後の閲覧もできるように手配。ガバナー方針の「良いことをしよう」にのっとり、柏崎刈羽地区の小中学校に、講師の著書をお手紙とともに寄贈させていただきました。

COVID-19はいろいろな困難を与えてくれましたが、実は、私にとっては診療の合間に白衣をジャケットに着替えるだけで、リモートでガバナー訪問に参加できるという良い面も与えてくれました。これからのロータリークラブの在り方にも、一石を投じてくれたのではないのでしょうか。

1年間、本当にお世話になりました。





ガバナー補佐を終えて!!

2020-21年度

第6分区ガバナー補佐

高橋 主計（津南）

大谷年度に青少年奉仕副委員長を拝命して、委員会活動を上越市で数回行っていた時、津南RCの例会を欠席する事がありました。

次の例会に参加したら、会長からガバナー補佐が決定しましたとの報告があり、どうしてと思っていたらロータリアンには、「NO」はありませんからお願いしますとの事でした。ならばと言う事で、IMの実行委員長は、私に決定権を頂き丸く収まりました。とは言え、ガバナーエレクトは村上ですので、会議に片道3時間は掛かると思っていたら、佐藤ガバナーエレクトは、会議は全て新潟でやりましょう。という事になり一安心しました。

佐藤ガバナーエレクトの時は、新潟で会議が終わってから楽しい親睦会があり、ガバナー補佐の皆様と楽しい会話で盛り上がりました。皆様は日帰りになりましたが、私は帰れませんので、新潟で泊まってゆっくりと次の朝帰って来ました。そんな会議が数回ありましたけど、COVID-19が徐々に新潟でも感染者が増えてきて、オンライン会議になりました。

私はアナログ人間で、パソコンは一切ダメな人間ですので、会社からパソコンを買ってもらい、設置設定も全て社員任せですので、途中でトラブルったり会社が休みの日は大変でした。でも、何とかオンライン会議も終了する事が出来ました。

最大の取組は、IMでした。9月を予定していましたが、第6分区内でも感染が少しありましたので、どうするか検討会議をやり、先に行けば増える可能性の方が多いと結論がでて、実行委員長が今ならできるという事で、人数を制限して無事に実行できました。本当に有難かったです。参加クラブからも喜んで頂きました。

ただクラブ訪問は、なかなか出来ませんでした。6月に6クラブを全て訪問する事が出来ました。次年度6分区のガバナー補佐にバトンを渡す事が出来ました。ガバナー補佐の皆様ご苦労様でした。そして、佐藤ガバナー、渡邊地区幹事ありがとうございました。

地区事務所の職員の皆様ご苦労様でした。大変でしたけど、仲間が増えて楽しい2年間でした。第6分区の皆様、ありがとうございました。



佐藤年度を振り返って

2020-21年度

第7分区ガバナー補佐

倉茂 章 (元頸北)

佐藤年度はまさにCOVID-19で始まりCOVID-19で終わった年度でした。様々なロータリー活動に支障が生じ、残念ながら、IMも中止となりました。そんな中、第7分区では、IM全員登録をして頂き、COVID-19禍で売上減少に苦しむ知的障害者作業施設から、登録料をもとに手作りジャムを大量購入致しました。第7分区全体で少しでも支援活動が出来たことが、一つの救いとなりました。

また、緊急事態宣言の合間を縫いながらではありましたが、各クラブを3から4度、計24回訪問できたことも、大変貴重な経験となりました。

今年に入り、社会状況の悪化は、私の所属クラブ頸北RCを直撃し、会員が激減する事態となりました。このため、クラブ維持が不可能な状態に陥りました。この事態に、ガバナー補佐として、また一会員としても大変な責任を感じております。ロータリーで指導的立場にありながら自分のクラブをおろそかにしてしまったことは、ロータリアン失格であります。私はこの責任をとり、頸北RCと運命を共にすることに致しました。突然のことで、佐藤ガバナーをはじめ関係各位には多大なるご迷惑をお掛け致しますこと、心からお詫び申し上げます。

ロータリーでは様々な困難もありましたが、楽しい思い出の方が多くありました。多くの出会いから沢山の学びや人間的な成長がありました。これまでの皆様方のご厚情に、この場をお借りして感謝申し上げます。そして、佐藤年度でのご支援、本当にありがとうございました。私は、ロータリーを去りますが、どこかでお見かけの際はお気軽にお声がけいただければ幸いです。

最後に、第7分区、そして第2560地区の皆様のごさらなるご発展とご健勝をご祈念申し上げ、ご報告とさせていただきます。



糸魚川 RC 倉茂AG・風間次期AG様 お迎えして 2021.6.10





佐藤 真年度の一年を振り返って

2020-21年度

会員増強・戦略・広報委員会

委員長 山崎 堅輔（中条）

この度、佐藤 真年度の『一年を振り返って』の原稿を依頼され、いろいろ思いを巡らせてみました。

真っ先に思うことはやはりCOVID-19感染症の影響をモロに受けてしまったことです。当委員会のスタッフと共に動き始めようとしたのは、佐藤 真年度のPETSや地区研修・協議会の開催に向けての準備が始まった2020年2月上旬から3月頃だったでしょうか。大谷年度でこの役を拝命して2年目に入る準備をスタッフの皆様と始めて間もなく、その頃から少しずつ社会問題化し始めたCOVID-19感染症はアツという間に全国に拡散して行きました。しかしその頃は未だCOVID-19そのものの正体は医療の専門家ですら良くわかっておらず、各種イベントは一定期間を経過すれば感染拡大もある程度納まるかもしれないという予測の下、1～3ヶ月の延期という措置が採られていました。

当委員会としても、予定されていたものは同様の措置を採っていましたが、いざ期日が近づいて来ると、感染状況が思わしく無く、結局、委員長判断で直前に中止せざるを得ないことが続きました。特にこの時期は年度の期末と言うことも有り、他所のいろんな会の総会は中止となり、決算の承認も文書での議決が為されていました。

この様にして世の中の動きはすっかり変わってしまい、現在に至っています。従いましてこの一年間は何も出来ないまま終わってしまいました。スタッフの皆様が知恵を絞って考え出したイベントもその多くが不発に終わってしまったことを誠に残念に思います。



1年を振り返って

2020-21年度

会員増強委員会

委員長 大平 力（中条胎内）

大委員長の山崎堅輔さんを筆頭に、戦略・会員増強・広報委員会を立ち上げました。7月に増強セミナーを開く予定でしたが、感染拡大にともないビデオ研修となりました。

第2560地区56クラブの増強委員長に配布し、感想とアンケートに答えていただきました。色々と批判や要望があり、返答に苦労しました。佐藤ガバナー年度の始まりの大変さを痛感致しました。

クラブ戦略委員会を開いているクラブが数クラブと少なく、5年後の自分達の理想とするクラブ像が見えず、会員増強も厳しいものとなると思われましたが、前年度の高田クラブの増強委員長のおかげで今年度も増員のまま終わることが出来ました。高田クラブには非常に感謝しております。ありがとうございました。

今年の3月には、増強セミナーを開く準備をしておりましたが、感染拡大が収まらず、やむを得ずYouTubeで新潟のお笑い集団ナマラの高橋なんぐさんを司会者として、村上、新発田城南、中条胎内ロータリークラブの会員に出演してもらい、ロータリークラブを新入会員にわかりやすくディスカッションしていただきました。1年間セミナーも開けず、56クラブの委員長さん方との懇親会も出来ないまま、終わってしまいました。山崎大委員長はもう1年この委員会に残って高尾ガバナー年度を進めて行かれます。大変ですが、宜しく願います。3月のYouTubeでの検証も出来ないまま終わってしまったことを反省しております。また機会があれば地区の委員会に携わって行きたいと思えます。

最後になりますが、この委員会に関わっていただいた皆様に感謝を申し上げ1年の反省の言葉と致します。ありがとうございました。



戦略計画委員長として

2020-21年度

戦略計画委員会

委員長 宮嶋 誠一（中条）

佐藤 真ガバナー年度になり、三委員長と会議を重ねましたが、いまだCOVID-19 禍の中で、7月のセミナーも中止せざるを得なくなりました。

私たちロータリーアンは、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界と地域社会を目指しております。

そして、クラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と増加、公共イメージと認知度の向上、戦略計画の土台となる四つの主な優先事項と目的がRI 理事会で承認されておりますので、第1段階:現状分析クラブの現状はどうか。第2段階:ビジョンの作成、どのようなクラブになりたいのか。第3段階:計画の作成どのようにビジョンを実現できるか。第4段階:進捗の確認目標への進み具合はどうか。

各クラブで実行できるように、高尾年度に宜しくお願い致します。



一年を振り返って

2020-21年度

会員増強・戦略・広報委員会
委員長 宮澤 恵子（村上）

佐藤ガバナー地区運営方針「ロータリーで良いことをしよう」...しかしながらCOVID-19禍、先の見えない状態でのスタートでした。

大委員長の山崎PGはじめ増強、戦略各委員長、担当幹事皆さま胎内市在住の為、打ち合わせは胎内市に在る大平さんの会社、会議室をお借りして幾度も行いました。

Zoomでの会議も僅かに行いましたが、委員会5名は対面で忌憚なく話し合えることを望みました。地区協議会はDVD配布、増強セミナーはYouTube配信、お伝えしたかった事は如何だったのでしょうか。

各クラブよりアンケートのご提出を頂きましたが戦略的優先事項に対するの取り組みには大きな温度差が有りました。不自由を強いられている中、なかなか思うようなサポートが出来なかったように思えます。

計画、予定、変更、延期、中止... がっかりすることもしばしばございました。

私は大谷年度からの2年間この委員会に所属させて頂きました。色々なことを学び、人脈の幅も更に広がりました。

お世話になりました皆様方に心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。



一年を振り返って

2020-21年度

職業奉仕委員会

委員長 篠沢 正（元豊栄）

佐藤ガバナー年度はコロナのために、これと言った集まりもなく「職業奉仕委員会活動」としては、4～5ヶ所のクラブから「卓話」の要請がありました。がコロナ禍で応じられませんでしたので、「卓話の原稿」をデータで送信させて頂きました。それ以後の「卓話の要請」にも応じることもできませんので、残りの全クラブ宛にも地区事務所を通じて「卓話の原稿」をデータで送信させて頂きました。

ロータリーの職業奉仕委員会の「テーマ」は「自分の企業を強靱な企業に作り上げる方法はないか」です。ロータリーでは多くの経営者の《自分にはない発想や情報》に出会えるはず。中小・零細企業に限らず、「新潟鉄工」のように一部上場の大企業も、数知れず倒産廃業しています。長崎屋も、新潟中央銀行も、…今は姿、形もありません。

広畑富雄著「ロータリーの心と原点」と言う書籍があります。その冒頭の部分に、こんなことが書かれています。

残念ながら近年、ロータリーは多くの問題を抱えるようになりました。

ロータリーの魅力が失われてきた、そのような声を良く聞きます。私の同期のガバナーのお一人が、「ガバナーをして欲しいと言われたが、受けるかどうか迷った。自分は以前のロータリーは好きだが、今のロータリーは…。」と言う言葉が強く記憶に残っています。…(2006年12月10日初版～第5版)

「今のロータリーは…」ロータリーを語る、ロータリーを勉強する場が無くなってきた。

そして、だんだんロータリーのロータリーたる原則を知らない会員が増えてきた。その結果、“入会させて頂くロータリー”が“入会して頂くロータリー”になり、ありがた味のない団体になってしまった。(と、話したのでは?)

数ある奉仕団体のなかで、《標語》や《四つのテスト》のように経営哲学を「錦の御旗」としているのはロータリー以外にはありませんが、昨今のロータリーは「職業奉仕」をすっかり忘れてしまって、「親睦と社会奉仕」だけが目的の“ほかの奉仕団体”と《区別が付かない状態》になっています。

先の大戦中、《隠れキリシタン》のように活動して来た日本のロータリーが《ロータリーの魅力》を見失って、当地区においても昨年度「頸北RC」が解散しました。「会員数の維持」だけが目的の“退会防止・一業種五人・配偶者も可”は、逆にクラブ全体の活力を低下させクラブを地盤沈下させていたようです。

以上で報告を終わります。ありがとうございました。



一年を振り返って

2020-21年度

社会奉仕委員会

委員長 吉田 忠廣（新発田中央）

今年度は通常の年度より、COVID-19禍の中更に奉仕活動が必要な年度でもありました。また、活動が出来ない年度でもありました。地域社会における奉仕の必要性を探求し調査し、どこにいかなる奉仕が必要かを調べ計画をたて、各クラブで苦悩の末お金だけの奉仕活動、行動を伴った奉仕活動、いずれにせよ各クラブが検討に検討を重ね、素晴らしい活動計画の下に実行されたことで、それぞれの地域に貢献され感謝されたことが良かったと思います。また、社会奉仕活動は会員個人の奉仕活動の訓練の場でもありますから、このCOVID-19禍の中での活動は永遠に心に残ったでしょう。

これからますます社会奉仕活動が必要になって来ると思います。これからの各クラブの社会奉仕活動が地域社会に感謝され続けることと思います。



国際奉仕委員会1年を振り返って

2020-21年度

国際奉仕委員会

委員長 石井 政治（新発田）

佐藤ガバナー年度の国際奉仕活動は、世界中のRCはもとより、COVID-19による活動の制約、延期、停滞を余儀なくされた年度でございました。しかしながら今現在出来ることを行動することが先決であり、状況に合わせた活動を計画させて頂きました。

まずは、この様な状況であっても未来を見据え、第2560地区の海外姉妹クラブ、友好クラブ交流推進を図るべく地区内のアンケート調査を実施致しました。調査を行った結果、当地区内56クラブ中、現在姉妹提携、友好クラブ提携の数が17クラブ、提携、交流が無いクラブが39クラブという状況を把握致しました。

今やIT化が進み展開が素早い社会において、経済活動はもとより、言語を超えて人と人との繋がりが大切な時代となってきています。

自然災害やCOVID-19は自国だけの問題に止まらず、この様なことに対処していく上でも国際交流は不可欠なものであり、この結果も踏まえ、国際的な交流推進を再度各クラブの皆様にご検討頂き、今後の当地区に姉妹提携クラブ及び友好クラブが増設されることを祈念する次第でございます。

さて、COVID-19禍においてもグローバル補助金を利用した海外での人道的プロジェクトはやはり本年度も続いております。第2560地区では新発田RCが提唱者となり承認されました。長年バンクのクロトインクラブとの信頼関係が活動を成功の要因となっております。

国際交流は、実際の活動を通じて、援助国の住民ばかりではなく、我々の地区やクラブ、個々の会員が世界観を広げ、人生の意識を改革し、活動から学んだ国際的な感覚を各々の企業へ還元することもできます。

1年を通じて思うように活動が行えないことが多く残念な気持ちもございますが、この様な状況下でご協力頂いた各方面の皆様に心より感謝申しあげます。

そして、今後の地区が今以上に幅広い国際交流の組織体系を確立し、国際社会との絆を深め、世界に羽ばたく会員、潤いある明るい地区、社会が創造されることを祈念致しております。

佐藤ガバナーをはじめ、地区、委員会、クラブ、会員の皆様、1年間ありがとうございました。



青少年奉仕、1年を振り返って

2020-21年度

青少年奉仕委員会

委員長 尾田 一雄（新発田城南）

地区青少年奉仕委員会は4つの部門を支援しております。佐藤年度スタートで計画された各部門の計画は、ことごとくコロナ感染症の為に縮小または中止を余儀なくされてしまいました。青少年交換の例を顧みますと、青少年活動の絶対安全と保護を前面に打ち出してきているRIの指導に従えば、この環境下ではほぼ無理の状態です。又、そのガイドラインに従わないクラブは2年間の交換事業停止まで盛り込まれております。その他の青少年奉仕の保護には未成年と青年との対応に違いも有りますが、是を意欲的に支援しようにも残念ながら国内において感染症の拡大という環境下では限界がありました。例えばRYLAですが、公共施設、国の機関の協力のもと講師も公務員をお願いして計画された事業は、全て相手側からのキャンセルでその努力は水泡に帰してしまいました。この為、次なる企画に意欲と時間が失われ中止となり、インターアクトに至っては学校の方針で不要不急な活動における生徒の安全保護の立場から、事業参加はできませんでしたし日常活動の実態すらも容易に把握できないという状態でした。このように支援する側から計画された従来型事業は対応する側の事情と判断によりほとんど見送られる事となったのです。

ただ、ローターアクトの活動だけは彼らの独立組織のもと、自主的計画の練り直しや新しいやり方の採用で活動を続けられた事は称賛に値するものであったと思われれます。具体的に言いますと接触型会合を画像型通信に置きかえたり、従来型の会合と組み合わせてハイブリット型に組み替え、それに見合う企画に落とし込んでゆくというものですが、実際やった姿を見ると、地区青少年奉仕委員会の支援も、独自に計画し活動ができる組織の育成が大切であり、その組織が自助努力と変化を成しえる能力といえますか、変化に対応できる力を育てる事の大切さを感じました。

つまり、出来なかった組織には変化に対応できる体制が出来ていなかった環境と事情があります。問題はこの辺の要素を考慮する必要があります。

この様に出来なかった従来型の要素と出来た要素を冷静に分析して対応を研究すればこの対比は実証モデルとして活動スタイルに効果的解決が見いだせる貴重な年度であったのかもしれない。

今後の組織の成熟と適切な変化を望みます。



1年を振り返って

2020-21年度

インターアクト委員会

委員長 森田 耕司（高田東）

2020年1月にCOVID-19が確認されてから、1年6ヶ月が経過しました。これは佐藤ガバナー年度の準備が開始され、そして年度が終わるまでであり、高校生にとっては短い学生生活3年間の半分をCOVID-19と過ごしたことになります。

ご存じのように地区主導のインターアクトに関する大きなイベントは2つあります。年次大会と台湾研修です。

前者は2020年7月の開催に向け、高田東RCに実行委員会を設置し、ホスト校である関根学園高等学校と協力しながら様々な準備が進んでいる中で中止という苦渋の決断となりました。

後者は海外渡航ということもあり、準備をするまでもなく開催することが叶いませんでした。台湾研修に関しては2年連続の中止ということもあり、楽しみにしていた両国の高校生に再チャレンジの機会すら提供できなかったことが非常に残念です。

さて、1年を振り返り私自身反省する点が多々あります。例えば各クラブの青少年委員長にご参加いただき、オンラインで情報交換する機会を提供する、収束後を見据えた地区・クラブ・学校間の体制整備など、知恵を絞り、実行すれば出来ることが多くあったことに今さら気づいております。

このような制限が多い中でもインターアクターがいつも以上に積極的に活動しているという嬉しい報告もありました。台湾とのオンライン交流、医療従事者への応援メッセージなど、高校生発案の取り組みが例年以上に多く見られたように思えます。

まだCOVID-19の影響は続いています。しかし、この1年でリアルだけではない、様々な交流の手法が生まれ、より洗練されました。それは決してネガティブなことではなく、自動車や飛行機、電話やインターネットが発明された時と同じような世界を広げるものです。それらのツールを使いこなす無限の可能性を秘めた高校生が、世界を広げていけるようにロータリアンとしてサポートしていきたいと思います。

皆様、1年間の多大なご協力、ありがとうございました。



パンデミックを縁として

2020-21年度

ローターアクト委員会

委員長 関根 功雄（白根）

年度当初は、「下期になれば少しは落ち着くだろう」という淡い思いで、地区ローターアクトの行事予定を計画しましたが、下期に入ってもCOVID-19禍は更に勢いを増していき、直前になって集会型の地区行事は全て中止にせざるを得なくなりました。しかし前年度とは異なり、地区大会と地区大納会は、規模は縮小しましたが、集会型+オンラインのハイブリッド形式で開催できた点は、良かったのかと思います。

我々ロータリアンだけでなく、ローターアクターも、今まで当たり前だと思っていたことが、実は当たり前ではなかったということを再認識した1年ではなかったかと思います。6月26日に開催された地区大納会の際に、この1年を振り返りローターアクターに以下のように話しました。

1. 当たり前だと思っていたことが当たり前ではなかったことに気が付いたと思います。今こうして活動できることに、改めて感謝しましょう。
2. できない、諦める理由を考えることは簡単です。制約された条件の中で、できる方法を模索し、実践していくことに意味があると思います。大きな壁を乗り越えることによって、私達は前進することができます。

青少年奉仕プログラムがほぼ活動できない中、ローターアクトだけがIT機器を駆使しながら、何とか活動することができました。若者らしい元気で賑やかな活動はできませんでしたが、新たな活動形態を確立できたと思います。今まで同様の活動が再開できることを夢見つつ、今後も彼等が力強く歩んでくれることに期待します。





一年を振り返って

2020-21年度

ロータリー財団委員会

委員長 新保 清久（新潟万代）

各クラブの皆様には、COVID-19禍で厳しい状況下にもかかわらず、ロータリー財団をご支援していただき大変有難うございました。

ラビンドラン財団管理委員長(元RI会長)は「COVID-19により、世界中で4億人が職を失い、1億人が飢餓に陥り、51か国8億7200万人が学校に通えなくなると予測されている。多くのロータリアンが職を失い事業の収益減少に苦しんでいる。この困難な時にRIは、会員減少とロータリー財団は、寄付金の減少に直面している」とCOVID-19禍でのロータリーとロータリー財団に対して強い危機感を表明しています。

財団寄付の減少は、「世界でよいことをしよう」を標語とするロータリー財団に大きな打撃を与え、今後、地区に配分される地区活動資金(DDF)の減少となり、地区補助金やグローバル補助金を活用した諸活動に影響が出てくるものと思われまます。

さて、佐藤年度のロータリー財団について報告します。

(1) 委員会活動

COVID-19対策を万全にした上で昨年8月と今年2月に財団セミナー、補助金管理セミナー、地区補助金オリエンテーションを開催して地区補助金、グローバル補助金やロータリー財団の理解に努めました。

また多岐にわたる財団情報の共有や課題の解決のために委員会内で財団ミーティングを7回開催しました。

(2) 地区の寄付実績

- ◆ 年次寄付136.83^{ドル}/人。ポリオプラス寄付23.54^{ドル}/人
- ◆ 地区内全クラブから年次基金の寄付をしていただきました。(ゼロクラブ・ゼロの達成)

(3) 地区活動資金(DDF) (用途:地区補助金、グローバル補助金、冠名基金への寄付)

- ◆ 地区補助金を利用して22クラブが地元の地域社会に奉仕活動を実施しました。
- ◆ グローバル補助金を利用して
 - タイ国への医療人工透析器の贈呈
 - 多地区合同事業としてインドネシアにフェイスシールドを寄贈。
 - グローバル奨学生を2名採用。

それぞれイギリスの大学に留学して、「アフリカ・サブサハラ地域における貧困層の女性の経済的向上」や「同地域の学校で障害のある者と無い者が共に学ぶ仕組みづくり」の研究に取り組んでいます。

- ◆ ポリオプラス基金に2万ドル、平和センターに1万ドルを寄贈しました。(例年同額)

以上の通り報告します。



一年を振り返って

2020-21年度

米山記念奨学委員会

委員長 吉村 鳳一（新潟西）

佐藤ガバナー年度は、新規16名、継続11名、10か国の米山奨学生でスタートしました。27名もの多くの奨学生受け入れることが出来、これも皆様の日ごろのご寄付のお陰です。本当にありがとうございました。

COVID-19の影響の為、昨年度延期をしていたカウンセラー研修会、オリエンテーションは、リモート開催となりました。恒例の親睦研修旅行も行けず、こちらリモート懇親会となりました。流石、米山奨学生は優秀で力が良く、リモート開催でも盛り上がっていました（と、思いたいです）。米山奨学生同士が初めてリアルに会うことが出来たのは、COVID-19がやや落ち着いた12月に「日本文化体験親睦交流会」を開催した時でした。米山奨学生同士やっとお互い会うことが出来、本当に嬉しそうでした。開催をご承認頂いた佐藤ガバナーには、大変感謝しています。ありがとうございました。

委員会の活動は、10月の第一回委員長セミナーは、DVD配布。11月の米山学友会総会はリモート開催。年が明けて1月の奨学生採用面接は感染対策を十分に行い実行、2月の第2回委員長セミナーもDVD配布で対応させて頂きました。第2回委員長セミナー用のDVDは、当地区の米山学友である敬和学園大学のファン先生より、米山奨学事業に対する熱意を聞くことが出来、改めて米山奨学事業の「人を育てること」の大切さを学びました。3月の終了式、4月のカウンセラー研修会、オリエンテーションは、COVID-19禍により時間短縮、規模縮小、会場分割形式の開催となりました。

ロータリアンの皆様には、このような大変な状況の中でも、例年同様のご寄付も頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。事業が続けられたのも、ロータリアン皆様のお陰です。また、地区の委員の皆様を支えて頂き、本当にありがとうございました。ロータリークラブ、米山奨学委員会に入って本当に幸せでした。感謝の気持ちで胸が一杯で、セロトニンが大量に出ています。

以上、全てのロータリアンの皆様に御礼を申し上げて私の報告とさせていただきます。

ありがとうございました。



一年を振り返って

2020-21年度

RLI推進委員会

委員長 新保 清久（新潟万代）

当地区にRLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)導入を目指して大谷年度でパストガバナー始め地区役員経験者をメンバーとする強力な推進委員会を立ち上げて佐藤年度にRLI国際本部(アメリカ)に加盟しました。

RLI研修の要であるセッション進行役のDL(ディスカッションリーダー)を育成するためにRLI日本支部ファシリテーター委員長のご協力をいただきながら、オンラインでDL候補者に数回にわたり研修会を開催しました。

有能でしかも意欲的なDL候補者の研修は順調に進み、試行寸前レベルまで進みましたが、推進委員会内部で運営方針の相違による混乱が起こり、現在は、活動を中止しています。

委員長の指導力不足で関係各位に多大なるご迷惑をかけてしまい心よりお詫び申し上げます。

本来であれば責任をとって辞任すべきところではありますが、高尾年度でCOVID-19感染が落ち着きましたら推進委員会の組織を見直しRLI導入に向けた準備を再開したいと思います。

以上



第3分区IM報告 「ロータリーで良い恋をしよう」

2020-21年度
第3分区ガバナー補佐
野崎 和久 (村松)

二度に亘る延期の後、6月13日(日)午後、村松RC(会長 土田隆一、実行委員長 番場靖明)をホストとし、桜と鯉の城下町五泉市村松「割烹松の家」に於いてようやく開催することが出来ました。

地区運営方針「ロータリーで良いことをしよう」に導かれた「ロータリーで良い恋をしよう」のテーマを掲げ、ご来賓として佐藤真ガバナー、渡邊明紀地区幹事をお迎えし、第3分区6クラブ98名全員登録(分区の決め事)といたしました。当日は会長、幹事と会長エレクト、幹事エレクト並びに地区役員の皆様、村松クラブの実行委員の出席で総勢限定33名での開催となりました。

第1部は佐藤年度でお亡くなりになられた4名の偉大なる現役会員の追悼、国歌、ロータリーソングの黙唱を含む式典を粛々と行いました。

第2部は佐藤ガバナーの基調講演。ロータリーの歴史と五大奉仕を織り込み「ロータリーで良いことをしよう」をご講演いただきました。続いて村松クラブの会員、石曽根医院金子洋院長から「町医者とCOVID-19」と題してワクチンで光明が見えて来たと明るい話をいただきました。

そして第3部は「恋人-19 負けるな永遠に、第3分区」をテーマに各クラブ会長から「クラブ活動で出来た良いこと」を、会長エレクトからは「クラブ運営方針」についてそれぞれ熱く明るく語り合っていました。

なお、全員登録の証として後日、越後村松の名産品、鯉の甘煮とメダカの佃煮をお届けしました。

最後にご来賓のお二方と全員登録で盛り上げていただいた第3分区6クラブのロータリアンの皆様に心より感謝申し上げます。





第4分区IM開催報告

2020-21年度

第4分区ガバナー補佐

丸山 健 (吉田)

6月19日(土)吉田産業会館で、佐藤真ガバナー、渡邊明紀地区幹事に、ご臨席いただき第4分区IMを開催致しました。今回のIMは昨年からのCOVID-19感染拡大のため本来なら昨年の9月に開催する予定でしたが、変更に変更を重ね、会員皆様の安全を第一に考え、残念ですが、各クラブの会長のみをお招きし、規模を縮小して開催させて頂く事と致しました。今回のIMのテーマは「わがクラブのこの1年間の活動と、これからのロータリーのあり方」で各11クラブの会長の皆様から発表して頂き、その後ディスカッションを行いました。1年間COVID-19禍、各クラブ共、例会、奉仕活動、その他の活動で大変苦勞され、又色々と工夫されたお話がありました。特に「これからのロータリー」では、会員増強の為にも、地元に着した社会奉仕を行い、地域の人々に「ロータリー」をよく理解して頂く事が重要ではないかとの意見が多く発表されました。

その後、佐藤真ガバナーよりご講評を頂き、次期IMホストクラブ石黒会長、次年度第四分区ガバナー補佐外山晴一様の御挨拶を頂き、第四分区IMを無事終了する事が出来ました。

今回のIMに関係された皆様には心より感謝申し上げます。有難うございました。

IMの内容につきましては、第四分区の会員の皆様に小冊子にまとめて、後日配布いたしました。



分 区	クラブ名	ロータリー財団寄付						ロータリー米山記念奨学会寄付						
		会員数 (20/07/01)	年次基金一 人当り寄付額 (\$)	2020年7月1日-2021年6月30日(\$)				会員数 (21/01/01)	一人当り 平均寄付額 (¥)	普通寄付金 単価(年額)	2020年7月1日-2021年6月30日(¥)			
				年次基金総計	使途指定寄付	恒久基金	合計				普通寄付金	特別寄付金	合計	
R I 第 2 5 6 0 地 区	第1分区分	387	150.50	58,244.01	12,462.35	0.00	70,706.36	389	19,425	☆	2,128,000	5,428,245	7,556,245	
	第2分区分	433	145.85	63,151.55	14,005.14	1,048.62	78,205.31	449	17,238	☆	1,779,000	5,960,665	7,739,665	
	第3分区分	102	108.34	11,051.15	1,675.32	0.00	12,726.47	101	10,232	☆	408,000	625,431	1,033,431	
	第4分区分	369	101.51	37,459.03	7,656.79	100.00	45,215.82	373	14,324	☆	1,304,000	4,039,000	5,343,000	
	第5分区分	306	146.26	44,754.06	8,731.97	152.38	53,638.41	305	17,534	☆	1,096,000	4,252,000	5,348,000	
	第6分区分	130	144.23	18,749.29	2,850.00	0.00	21,599.29	135	15,137	☆	647,560	1,396,000	2,043,560	
	第7分区分	337	145.42	49,005.34	10,139.96	300.00	59,445.30	335	17,031	☆	1,716,000	3,989,288	5,705,288	
	合 計	2,064	136.83	282,414.43	57,521.53	1,601.00	341,536.96	2,087	16,659	☆	9,078,560	25,690,629	34,769,189	
	第 1 分 区	新発田	95	153.32	14,565.00	4,950.00	0.00	19,515.00	97	19,793	10,000	960,000	960,000	1,920,000
		村上	40	139.36	5,574.38	1,002.35	0.00	6,576.73	41	16,097	4,000	162,000	498,000	660,000
水原		30	188.33	5,650.00	930.00	0.00	6,580.00	31	17,935	4,000	122,000	434,000	556,000	
中条		43	206.11	8,862.67	1,260.00	0.00	10,122.67	42	24,583	4,000	172,000	860,500	1,032,500	
新発田城南		44	75.86	3,338.00	330.00	0.00	3,668.00	42	13,640	4,000	172,000	400,920	572,920	
豊栄		23	120.09	2,762.13	690.00	0.00	3,452.13	23	23,565	4,000	92,000	450,000	542,000	
新発田中央		45	156.67	7,050.00	1,410.00	0.00	8,460.00	46	23,217	4,000	182,000	886,000	1,068,000	
中条胎内		36	132.44	4,767.98	1,050.00	0.00	5,817.98	37	12,675	4,000	144,000	325,000	469,000	
村上岩船		31	183.03	5,673.85	840.00	0.00	6,513.85	30	24,527	4,000	122,000	613,825	735,825	
第 2 分 区		新潟	88	130.27	11,464.00	30.00	0.00	11,494.00	90	13,674	4,000	348,000	882,665	1,230,665
	新潟東	63	83.16	5,238.92	2,943.27	0.00	8,182.19	65	11,415	4,000	252,000	490,000	742,000	
	新潟南	96	159.80	15,340.88	2,941.00	0.00	18,281.88	106	18,367	4,000	392,000	1,555,000	1,947,000	
	佐渡	6	119.62	717.69	0.00	0.00	717.69	6	22,000	4,000	24,000	108,000	132,000	
	新潟西	38	95.63	3,634.00	1,245.87	1,000.00	5,879.87	38	17,552	4,000	152,000	515,000	667,000	
	佐渡南	40	125.78	5,031.05	1,755.00	0.00	6,786.05	41	13,853	4,000	160,000	408,000	568,000	
	新潟北	39	80.45	3,137.36	0.00	0.00	3,137.36	40	20,500	4,000	156,000	664,000	820,000	
	新潟中央	20	564.00	11,280.00	2,700.00	48.62	14,028.62	22	28,500	4,000	80,000	547,000	627,000	
	新潟万代	43	169.95	7,307.65	2,390.00	0.00	9,697.65	41	24,536	5,000	215,000	791,000	1,006,000	
	第 3 分 区	新津	16	25.17	402.66	30.00	0.00	432.66	17	8,352	4,000	68,000	74,000	142,000
村松		12	172.22	2,066.64	385.32	0.00	2,451.96	12	4,000	4,000	48,000	0	48,000	
五泉		12	150.00	1,800.00	360.00	0.00	2,160.00	12	4,000	4,000	48,000	0	48,000	
白根		30	91.67	2,750.00	900.00	0.00	3,650.00	30	17,333	4,000	120,000	400,000	520,000	
新津中央		26	131.76	3,425.85	0.00	0.00	3,425.85	24	10,476	4,000	100,000	151,431	251,431	
阿賀野川ライン	6	101.00	606.00	0.00	0.00	606.00	6	4,000	4,000	24,000	0	24,000		
第 4 分 区	三条	57	104.77	5,971.69	1,928.52	0.00	7,900.21	60	19,016	4,000	240,000	901,000	1,141,000	
	燕	36	64.96	2,338.66	360.00	0.00	2,698.66	36	4,361	0	0	157,000	157,000	
	加茂	30	60.00	1,800.00	317.01	0.00	2,117.01	32	15,437	4,000	124,000	370,000	494,000	
	三条南	45	100.00	4,500.00	1,320.00	0.00	5,820.00	44	18,045	4,000	178,000	616,000	794,000	
	分水	30	118.20	3,545.87	0.00	0.00	3,545.87	30	17,000	4,000	120,000	390,000	510,000	
	見附	22	130.00	2,860.00	220.00	0.00	3,080.00	22	6,000	4,000	88,000	44,000	132,000	
	吉田	26	69.04	1,795.00	780.00	100.00	2,675.00	29	11,793	4,000	110,000	232,000	342,000	
	三条北	60	157.63	9,457.54	1,800.00	0.00	11,257.54	57	21,105	4,000	234,000	969,000	1,203,000	
	巻	23	83.37	1,917.42	0.00	0.00	1,917.42	24	5,708	4,000	80,000	57,000	137,000	
	田上あじさい	7	52.42	366.96	0.00	0.00	366.96	7	5,714	0	0	40,000	40,000	
第 5 分 区	三条東	33	88.06	2,905.89	931.26	0.00	3,837.15	32	12,281	4,000	130,000	263,000	393,000	
	長岡	49	163.76	8,024.00	1,500.00	0.00	9,524.00	48	22,791	4,000	194,000	900,000	1,094,000	
	柏崎	42	28.60	1,201.40	1,260.00	0.00	2,461.40	42	6,976	4,000	168,000	125,000	293,000	
	長岡東	57	199.18	11,353.11	1,820.74	0.00	13,173.85	58	22,310	4,000	232,000	1,062,000	1,294,000	
	柏崎東	46	195.65	9,000.00	1,320.00	0.00	10,320.00	44	14,318	4,000	180,000	450,000	630,000	
	栃尾	24	156.25	3,750.07	750.03	0.00	4,500.10	25	19,920	4,000	98,000	400,000	498,000	
	長岡西	52	185.70	9,656.24	1,957.14	152.38	11,765.76	50	24,680	4,000	204,000	1,030,000	1,234,000	
柏崎中央	36	49.15	1,769.24	124.06	0.00	1,893.30	38	8,026	420	20,000	285,000	305,000		
第 6 分 区	十日町	29	178.13	5,165.78	930.00	0.00	6,095.78	32	19,843	5,000	155,000	480,000	635,000	
	小千谷	27	236.55	6,386.79	1,050.00	0.00	7,436.79	30	17,266	6,000	168,000	350,000	518,000	
	雪国魚沼	24	100.00	2,400.00	240.00	0.00	2,640.00	24	10,000	5,000	120,000	120,000	240,000	
	十日町北	21	99.84	2,096.72	570.00	0.00	2,666.72	20	18,000	4,000	84,000	276,000	360,000	
	津南	23	91.30	2,100.00	0.00	0.00	2,100.00	23	11,391	4,000	92,000	170,000	262,000	
	越後魚沼	6	100.00	600.00	60.00	0.00	660.00	6	4,760	4,760	28,560	0	28,560	
第 7 分 区	高田	76	134.99	10,259.59	3,333.96	0.00	13,593.55	76	14,500	4,000	248,000	854,000	1,102,000	
	直江津	71	177.42	12,597.09	2,100.00	0.00	14,697.09	71	20,985	10,000	710,000	780,000	1,490,000	
	新井妙高	32	146.06	4,674.00	960.00	300.00	5,934.00	32	15,971	4,000	128,000	383,088	511,088	
	糸魚川	41	105.16	4,311.46	385.32	0.00	4,696.78	42	13,654	4,000	166,000	407,500	573,500	
	高田東	36	145.00	5,220.11	960.00	0.00	6,180.11	36	19,277	4,000	144,000	550,000	694,000	
	糸魚川中央	33	167.42	5,525.01	840.00	0.00	6,365.01	30	23,190	2,000	126,000	569,700	695,700	
	頸北	10	165.00	1,650.00	330.00	0.00	1,980.00	11	24,000	4,000	44,000	220,000	264,000	
	越後春日山	38	125.48	4,768.08	1,230.68	0.00	5,998.76	37	10,135	4,000	150,000	225,000	375,000	
D2560	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			0	0	0	0		
合 計	2,064	136.83	282,414.43	57,521.53	1,601.00	341,536.96	2,087	16,659		9,078,560	25,690,629	34,769,189		